

2. 令和3年度 実証事業の実施状況

2. 令和3年度 実証事業の実施状況

(1)実施状況

①運行期間

2021年4月5日～2022年1月14日

2021年4月、7月 :毎週月曜 9:30～12:00

2021年10月 :毎週月曜・木曜 9:30～12:00

2021年11月～2021年12月13日 :毎週月曜・木曜 9:30～15:30

2021年12月16日～2022年1月14日 :毎週月曜・火曜・木曜・金曜 9:30～15:30

2021年4月:3回/7月:4回/10月:6回/11月:9回/12月:12回/1月:6回

令和3年度											
4月合計	44人	7月合計	61人	10月合計	48人	11月合計	134人	12月合計	162人	1月合計	51人
平均乗車人数	14.7人/日	平均乗車人数	15.3人/日	平均乗車人数	8.0人/日	平均乗車人数	14.9人/日	平均乗車人数	13.5人/日	平均乗車人数	8.5人/日
4月5日	14	7月5日	15	10月11日	6	11月1日	27	12月2日	8	1月6日	7
4月12日	15	7月12日	11	10月14日	7	11月4日	23	12月6日	20	1月7日	11
4月19日	15	7月19日	16	10月18日	12	11月8日	17	12月9日	15	1月10日	12
		7月26日	19	10月21日	6	11月11日	14	12月13日	25	1月11日	4
				10月25日	11	11月15日	12	12月16日	7	1月13日	11
				10月28日	6	11月18日	10	12月17日	11	1月14日	6
						11月22日	7	12月20日	22		
						11月25日	10	12月21日	7		
						11月29日	14	12月23日	10		
								12月24日	12		
								12月27日	17		
								12月28日	8		

※色が異なるセルは有償運行期間

(※参考)

令和2年3月分運行実績:

令和2年度実績報告時に時期的に報告できずであったため、
参考に報告いたします。

令和2年度	
3月合計	42人
平均乗車人数	14.0人/日
3月15日	12
3月22日	16
3月29日	14

②GSM 乗降ポイント表示板の製作・設置

GSM の乗降ポイントとなる箇所(電柱。一部、壁面設置分も含む)に設置する表示板の製作及び設置、またそれに付随する業務を実施した。

(内 容)

1. 表示板製作: グリーンスローモビリティ停留所表示板 14 枚
2. 設置場所: 河内長野市南花台 14 箇所(電柱/本)

③自家用有償旅客運送の開始

将来の自立運営に向けて、有償運送の効果検証を行うため、自家用有償旅客運送の内市町村運営有償運送による有償化を実施した。

●地域公共交通会議での議決

令和3年6月30日に実施した地域公共交通会議にて南花台モビリティ「クルクル」の有償化について承認を得た。当該時点での承認としては、9月1日からの有償運行であったが、下記のとおり、8月に予定していた

2. 令和3年度 実証事業の実施状況

有償運送講習が緊急事態宣言の発出により延期となったことから、令和3年9月22日付け、改めて書面開催により議決を得て、下記のとおり有償運送の実施を認められた。

【承認内容】

申請方法：道路運送法第78条第2号に基づく自家用有償旅客運送の登録申請

旅客の範囲：南花台の地域住民および来訪者

有償運送期間：令和3年11月1日～令和4年6月30日

（令和4年6月の公共交通会議で事業報告を行い、延長可否を判断）

運行の区域：河内長野市南花台1丁目～8丁目全域

運送の対価：100円／回

なお、後述のとおり、申請に係る大阪運輸支局との事前調整に伴い、実際の申請は11月12日となり、そのため有償運送の開始も12月16日からとした。

●市町村運営有償運送講習の実施

令和3年8月2・3日に実施予定であったが、緊急事態宣言の発出により、府外への移動を自粛。改めて10月12日・13日に日程を変更して実施。運行チームより18名の参加。11月11日にも追加実施し、現在24名が有償運送講習を受けて運転手として運行に携わっている。



●自家用有償旅客運送の申請

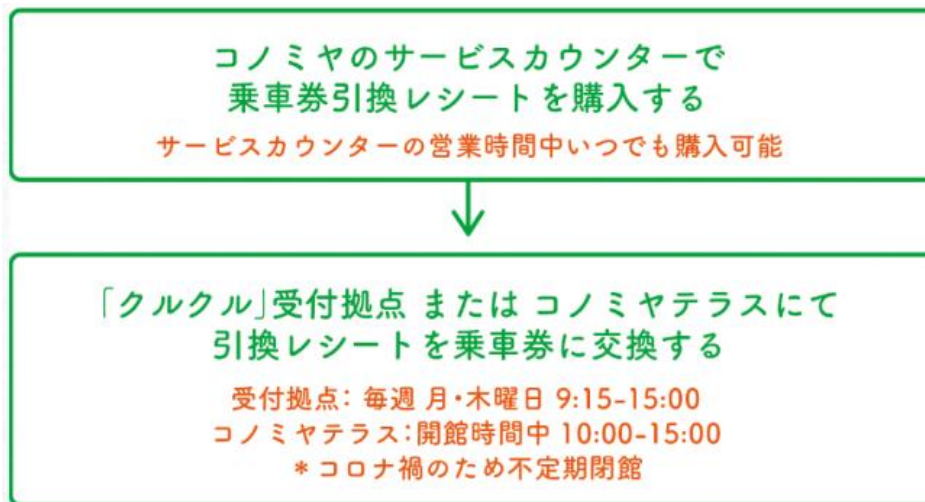
地域公共交通会議での承認内容に沿って、大阪運輸支局との事前調整を行い、11月12日付け自家用有償旅客運送を申請。

●有償運行の開始

12月16日、自家用有償旅客運送の承認を得て、有償運行を開始。車両内での現金の取り扱い業務の負担を無くすことと、地域通貨による地域内経済循環を見据え、河内長野市で実施している地域通貨「モックルコイン」および現金により購入が可能な乗車券による運行を実施した。

乗車券の販売は株式会社コノミヤの協力によりコノミヤ南花台店のサービスカウンターでお金を支払い、受付拠点で乗車券を受け取るという方式を採用。500円で5枚つづりの乗車券を販売した。

【乗車券購入方法】



【有償運行期間実績】

2021 年 12 月 16 日(木)～2022 年 1 月 14 日(木)

計 14 日間

145 人の乗車＝14,500 円の利用料収入

有償期間合計	145人
平均乗車人数	10.4人/日
12月16日	7
12月17日	11
12月20日	22
12月21日	7
12月23日	10
12月24日	12
12月27日	17
12月28日	8
1月6日	7
1月7日	11
1月10日	12
1月11日	4
1月13日	11
1月14日	6

●ボランティア活動の有償化

12月16日の有償化にあわせて、ボランティア活動についても1シフトあたり 500 円分の河内長野市地域通貨「モックルコイン」を付与した。

各自に事前にモックルコインカードを渡し(希望者はスマホアプリでも対応可)、12 月 16 日～31 日までのシフト参加数×500 ポイントを、1月初旬に付与した。1 月以降の活動についても、同様に翌月当初に付与する。

【各日の運行体制】

	9	10	11	12	13	14	15	16
予約受付チーム (2名体制)		9:00 ~ 12:30			12:30 ~ 16:00			
1号車 (運転1名、添乗1名)		9:30 ~ 11:10			12:30 ~ 14:10			
2号車 (運転1名、添乗1名)			11:00 ~ 12:40			14:00 ~ 15:40		

運行体制のとおり、1日あたり12人(矢印が各シフト、1シフト2人体制)である。よって、1日あたりの有償ボランティアに対する支出は 6,000 円分となる。

広報チームは、12月に1度、コノミヤ南花台店内での有償化に関する広報活動をおこなった際に、活動参加に対し 500 ポイントを付与した。

③地域住民との調整

●GSM 代表者会議

【出席者】

河内長野市、河内長野市社会福祉協議会、地域住民

【内 容】

下記3チームと河内長野市、社会福祉協議会の担当者で、GSM の運営に関する方針等を議論し検討・取りまとめを行うための会議。緊急事態宣言発出に伴う緊急会議や、緊急事態宣言期間中の会議中止を除いて、基本的には月に一回程度開催した。

日時	会議名	内容
2021/4/2	第 24 回代表者会議	1.自動運転について 2.市役所より報告および情報提供 3.各チームより今月の活動について
2021/4/23	第 25 回代表者会議 (緊急)	1.クルクル運行について 緊急事態宣言発出に伴う運行休止 ⇒利用者への通知方法等の確認 2.市からの報告意見交換
2021/6/25	第 26 回代表者会議	1.緊急事態宣言解除による再開日程の確認 7月5日運行再開⇒再開に向けた各チームの準備等の検討 2.各チームより今月の活動について 3.市からの報告(有償化の進捗状況、看板の撤去・新設について) 4.意見交換
2021/7/16	第 27 回代表者会議	1.停留所の新設について 2.有償運行の進め方について(有償運送講習の日程調整等) 3.市より報告 4.各チームより今月の活動について 5.意見交換
2021/9/10	第 28 回代表者会議	1.緊急事態宣言解除後の運行再開について 2.市より報告(ヤマハ・千葉大学の実証実験について 他) 3.各チームより運行再開後の活動予定について 4.意見交換
2021/10/1	第 29 回代表者会議	1.緊急事態宣言解除後の運行再開のスケジュール・シフト確認 2.市より報告(有償化の進捗状況) 3.各チームより今月の活動について 4.意見交換
2021/10/25	第 30 回代表者会議 (緊急)	1.有償運行の日程、シフト等の調整について(週4日運行) 2.意見交換

2. 令和3年度 実証事業の実施状況

2021/11/5	第 31 回代表者会議	1.有償運行方法の詳細、有償ボランティアについて 2.市からの報告(地域報告会の実施 等) 3.各チームより今月の活動について 4.意見交換
2021/12/3	第 32 回代表者会議	1.市からの報告(有償運送に伴う掲示物 等) 2.各チームより今月の活動について 3.意見交換
2022/1/12	第 33 回代表者会議	1.環境省事業の終了について 2.市からの報告(ヤマハ・千葉大学の実証実験報告) 3.各チームより今月の活動について 4.意見交換

●GSM 運行チーム会議(2022 年 1 月現在 地域住民ボランティア 39 名)

【出席者】

河内長野市社会福祉協議会、地域住民

【内 容】

実際の運行上の課題の洗い出し、解決策や運行ルールを検討し、実践していくための会議。GSM の運転を担当する「運転手」と乗車中のタブレットの操作、利用者を迎えにいくルートの検討、利用者の乗降の補助等を担当する「添乗員」の2つの担当を設けた。また、運行チームの住民以外の意見も取り入れるべく、独自に利用者情報の集計を行い、積極的に地域を巻きこんでいる。

ただし、人数が多く、コロナウイルス感染症対策の観点も踏まえ、会議に全員が集合することは困難であり、会議後に不参加者メンバーへの議事録送付等を実施した。

2021/4/9	運行チーム	1.資料説明(代表者会議の報告) 2.意見交換 3.シフト調整
2021/7/2	運行チーム	1.資料説明(代表者会議の報告) 2.意見交換 3.シフト調整
2021/8/27	運行チーム役員会 (緊急)	1.有償運行方法について
2021/10/8	運行チーム	1.資料説明(代表者会議の報告) 2.意見交換 3.シフト調整
2021/10/29	運行チーム	1.資料説明(代表者会議の報告) 2.意見交換 3.シフト調整

2. 令和3年度 実証事業の実施状況

2021/12/10	運行チーム	1.資料説明(代表者会議の報告) 2.意見交換 3.シフト調整
------------	-------	---------------------------------------

●GSM 予約受付チーム会議(2022 年 1 月現在 地域住民ボランティア 15 名)

【出席者】

河内長野市社会福祉協議会、地域住民

【内 容】

実際の予約受付上の課題の洗い出し、解決策や運行ルールを検討し、実践していくための会議。基本的にはPC操作のできる住民の方が参加しているが、実際に地域住民が自ら予約受付を行うため、当初はNTTドコモ担当者からの説明を受けながら、予約受付のシステム・アプリについての議論を多く行なった。アプリ利用以外にも電話受付のマニュアルづくりにも取り組んだ。令和3年度は、運休および運行再開等に係る利用者への連絡や、有償運送に関する利用者からの問い合わせ対応等も担ったため、マニュアル作り等に関する会議を実施した。

2021/7/1	予約受付チーム	1.運行再開に向けて(情報共有、利用者への連絡等) 2.資料説明(代表者会議の報告) 3.意見交換 4.シフト調整
2021/10/7	予約受付チーム	1.運行再開に向けて(情報共有、利用者への連絡等) 2.資料説明(代表者会議の報告) 3.意見交換 4.シフト調整
2021/10/28	予約受付チーム	1.資料説明(代表者会議の報告) 2.意見交換(乗車券の販売受付マニュアルについて) 3.シフト調整
2021/11/25	予約受付チーム	1.資料説明(代表者会議の報告) 2.意見交換 3.シフト調整
2021/12/23	予約受付チーム	1.資料説明(代表者会議の報告) 2.意見交換 3.シフト調整

●GSM 広報チーム会議(2022 年 1 月現在 地域住民ボランティア 12 名)

【出席者】

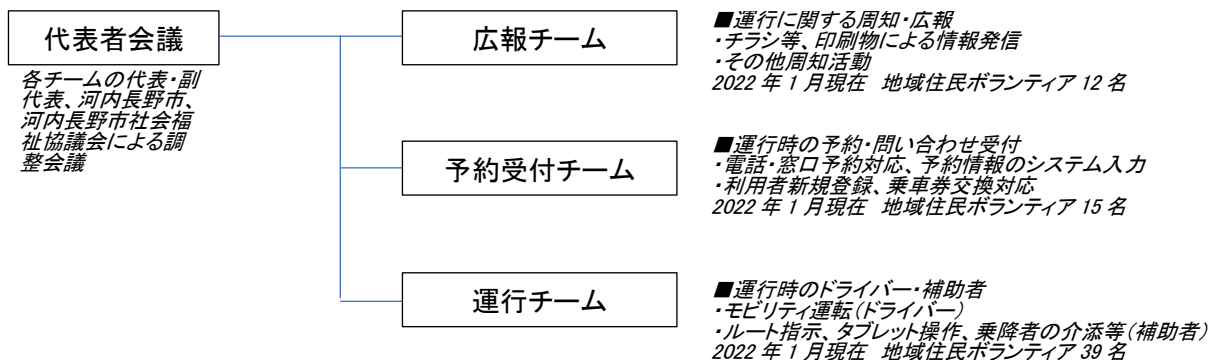
河内長野市社会福祉協議会、地域住民

【内 容】

運行にあたっては地域住民の理解と協力が必要不可欠であり、地域の盛り上がりをつくるための地域全体に対しての広報を考える会議。ポスターやチラシの掲載内容検討・作成・配布手配や設置済み横断幕、のぼり等の維持管理、作成・設置を行なった。さらに、自治会報や地域情報紙への寄稿も行った。

2021/4/3	広報チーム	1.資料説明(代表者会議の報告) 2.意見交換
2021/7/17	広報チーム	1.緊急事態宣言による運行休止の広報について 2.資料説明(代表者会議の報告) 3.意見交換
2021/10/2	広報チーム	1.運行再開の周知について 2.資料説明(代表者会議の報告) 3.意見交換
2021/11/16	広報チーム	1.有償運行に関する周知について 2.資料説明(代表者会議の報告)
2021/12/4	広報チーム	1.有償運行に関する周知活動について 2.資料説明(代表者会議の報告)

【運行実施体制】



(2)IoT の活用(AI 運行バス)

●AI の活用

本実証で活用している AI 運行バスシステムは、従来の人手を介した受付、配車手配をAIが担っている。

実証後に南花台地区の住民が運用に携わり、持続可能なモデルを構築することを念頭に、プロのドライバーではない住民が運転業務に集中できる環境づくりや、可能な限り人手を介さずに予約、配車(変更等)業務が行われることに配慮し、AIの機能を活用している。

予約、配車業務の中で、代表的な3つの業務を記載する。

- ① 過去の実証試験の知見や実際の運行データから、継続して改善していくことが可能な AI を活用して、「どの車両で」、「どの順番で」迎えに行くのが効率的なのか、予約時に車両の位置、予約状況(進行方向・乗車人数)を元にリアルタイムに予約を完了させる。

2. 令和3年度 実証事業の実施状況

② 運行スケジュールやドライバーの休憩時間等を考慮して降車が完了するよう、予約管理を行う。現在運行している車両の運行スケジュール内に収まらない予約については、次の時間帯の車両に自動的に振り替えるなど、AIがリアルタイムに計算、反映させる。

③ 急なキャンセルや運行の順番が変わってもAIが即座に新ルートとして反映させ、車両側のタブレットに表示させる。ドライバーや運行管理者は本来の業務に集中することが出来る。

今年度においては、システム変更に係る作業を1回行った。警察署からの指導を受け、一部乗降ポイントを撤去・新設したことから、そのポイントの新規設定および、撤去箇所の利用不可設定を実施。(ドコモによるシステム改修ではなく、運営主体である河内長野市において、管理者権限によるポイントの設定変更を実施した。)

(3) 定時・定ルート運行の効果検証

世帯調査結果を踏まえ、令和3年度では、デマンド運行を継続しつつ、定時定ルート走行も実施し、利用状況等の比較を実施した。

① 定時・定ルート運行＜未来技術社会実装事業(内閣府)＞

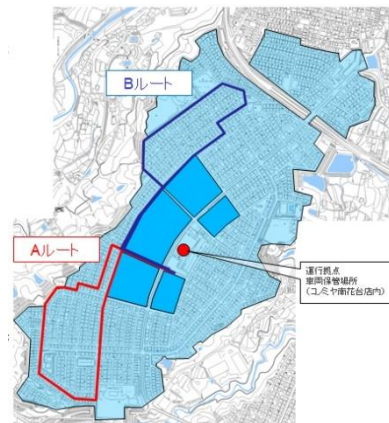
内閣府による未来技術社会実装事業の一環として自動運転技術を用いた定時・定ルート運行を実施。

【運行概要】

運行期間: 令和3年10月16日(土)～

運行当初は、毎週土曜日 10時～12時。1月8日から、午後の便(13時～15時)を増便。

運行ルート: 10時コノミヤ発 右記 A ルート
 10時30分コノミヤ発 右記 B ルート
 11時コノミヤ発 右記 A ルート
 11時30分コノミヤ発 右記 B ルート
 (1月8日以降)
 13時コノミヤ発 右記 A ルート
 13時30分コノミヤ発 右記 B ルート
 14時コノミヤ発 右記 A ルート
 14時30分コノミヤ発 右記 B ルート



運行体制: 運行チームから15人、予約受付チームから1人が参加し、自動運転運行チームを結成。運転手1人、添乗者1人、受付拠点での問い合わせ担当1人の計3人体制で実施。

【運行実績】

令和3年度							
10月合計	12人	11月合計	23人	12月合計	6人	1月合計	3人
平均乗車人数	4.0人/日	平均乗車人数	5.8人/日	平均乗車人数	1.5人/日	平均乗車人数	0.8人/日
10月16日	4	11月6日	7	12月4日	0	1月8日	0
10月23日	6	11月13日	4	12月11日	2	1月15日	1
10月30日	2	11月20日	9	12月18日	0	1月22日	2
		11月27日	3	12月25日	4	1月29日	0

2. 令和3年度 実証事業の実施状況

②電動カートによる健康維持の効果検証事業＜河内長野市独自事業＞

①の事業は電磁誘導線方式のため、南花台全域をカバーできるルートを設定できないことから、より効果的な定時定ルートの検証を実施するため、河内長野市独自事業として、千葉大学予防医学センター等との連携協定により実施した電動カートによる健康維持の効果検証の際、その運行方法として定時定ルート運行を採用し、その効果検証を実施した。

【運行概要】

運行期間：令和3年10月17日（日）～令和3年12月15日（水）

毎週火・水・金・日曜日 9時30分～16時50分

運行ルート：北ルート、西ルート、南ルートの3ルートを設定。

各ルート、30分毎にコノミヤを出発。12時台に1時間の休憩。

北ルート	西ルート	南ルート
		

運行体制：車両3台を南花台に追加搬入し、地域のタクシー事業者に運転手を委託。1台につき1人の運転手が各ルートを担当。

【運行実績】

		1号車 北 ルート	2号車 西 ルート	3号車 南 ルート	3ルート合計			1号車 北 ルート	2号車 西 ルート	3号車 南 ルート	3ルート合 計			1号車 北 ルート	2号車 西 ルート	3号車 南 ルート	3ルート合 計
月日	曜日	利用者数	利用者数	利用者数	利用者数	月日	曜日	利用者数	利用者数	利用者数	利用者数	月日	曜日	利用者数	利用者数	利用者数	利用者数
10月20日	水	10	8	7	25	11月2日	火	14	8	14	36	12月1日	水	8	2	1	11
10月22日	金	16	8	8	32	11月3日	水	12	4	8	24	12月3日	金	17	9	3	29
10月24日	日	11	7	6	24	11月5日	金	14	14	7	35	12月5日	日	7	6	4	17
10月26日	火	15	14	9	38	11月7日	日	14	13	15	42	12月7日	火	4	2	6	12
10月27日	水	10	2	8	20	11月9日	火	6	4	11	21	12月8日	水	7	7	1	15
10月29日	金	6	5	6	17	11月10日	水	13	23	0	36	12月10日	金	8	8	9	25
10月31日	日	11	4	3	18	11月12日	金	15	5	5	25	12月12日	日	14	20	15	49
10月計		79	48	47	174	11月14日	日	14	7	7	28	12月14日	火	8	7	7	22
10月平均		11.3	6.9	6.7	24.9	11月16日	火	20	12	9	41	12月15日	水	6	4	14	24
						11月17日	水	12	0	4	16	12月計		79	65	60	204
						11月19日	金	15	3	5	23	12月平均		8.8	7.2	6.7	22.7
						11月21日	日	17	4	7	28	全体計		365	229	207	801
						11月23日	火	5	5	5	15	全体平均		11.1	6.9	6.3	24.3
						11月24日	水	5	0	1	6						
						11月26日	金	10	5	0	15						
						11月28日	日	11	3	0	14						
						11月30日	火	10	6	2	18						
						11月計		207	116	100	423						
						11月平均		12.2	6.8	5.9	24.9						

(4)環境行動の促進

①パンフレットの作成・配布

【目 的】

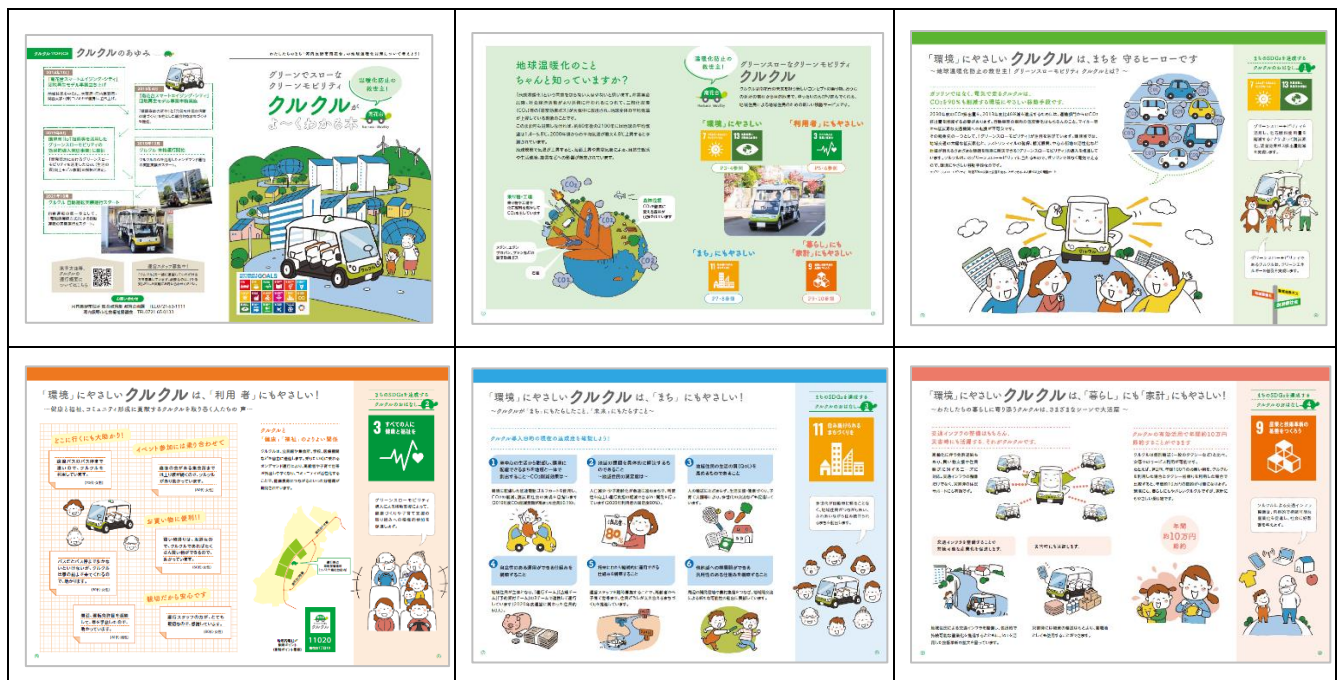
コロナ禍で、不要不急の外出抑制が叫ばれる中、実証事業としての効果を最大限発揮する必要があることから、本事業の環境面での効果をPRしながら、直接的な利用促進ではないものの、事業への関心を喚起する。

【内 容】

過年度の地域住民に対するアンケート結果等から、移動支援としての価値等については地域住民に認知されているが、グリーンスローモビリティの利用による環境負荷低減に関する認識については、より効果的な周知・啓発が必要であると確認されたため、冊子を作成し、SDGsとの関係性を踏まえてPRした。

※参考資料「住民の環境意識変革のための環境行動支援促進策案」

【パンフレット「クルクルがよ〜くわかる本」】



(5)周知・宣伝・広報活動

①チラシでの広報活動

【目 的】

地域住民に、全戸配布・回覧・掲示等(各自自治会等により方法は異なる)の方法でチラシ等を配布し、コロナ禍における活動の理解と、運行再開後の利用促進を図った。地域住民自らによる作成と、より訴求方法を高めるため専門家も交えてデザインする作成、2種類の制作方法を取った。

【実施内容】

①広報チーム作成チラシ

- ・第1弾チラシ:運行中止に関する情報発信(4/23~)
- ・第2弾チラシ:運行再開に関する情報発信(6/26~)

2. 令和3年度 実証事業の実施状況

- ・第3弾チラシ: 運行休止に関する情報発信(8/1～)※第1弾チラシと日時以外同様のため、画像は割愛
- ・第4弾チラシ: 運行再開に関する情報発信(10/02～)※第2弾チラシと日時以外同様のため、画像は割愛
- ・第5弾チラシ: 乗車券販売方法・増便に関する情報発信(12/1～)

制作方法: デザイン等から、すべて広報チームにより実施した

周知方法: 掲示・配架: コノミヤ南花台店内各所やその他商業施設や集会所、受付拠点での掲示・配架とした

第1弾チラシ	第2弾チラシ	第5弾チラシ
2021年4月23日 クルクル代表者会議 担当 クルクル広報チーム  のんびり、楽しく、いっかん？ クルクル Nankai Mobility クルクル運行中止について 「クルクル」は緊急事態宣言発出により、4月26日(月)より運行を中止します。 (再開は、新型コロナの状況をみでの対応となりますので、現時点未定。 詳細が決まり次第、ご報告します) 大阪府の緊急事態宣言 4月25日～5月11日に ともない、この間の運行中止。 「クルクル」へのご質問等については、以下で対応します。 お問い合わせ 河内長野市役所 総合政策部 政策企画課 ☎ 0721-53-1111 河内長野市社会福祉協議会 ☎ 0721-65-0133	2021年6月26日 クルクル代表者会議 担当 クルクル広報チーム  のんびり、楽しく、いっかん？ クルクル Nankai Mobility クルクル運行再開について 「クルクル」は7月5日(月)より毎週月曜日午前中運行します (受付時間：午前9時15分から12時まで) ・大阪府の緊急事態宣言 6月21日解除にともない、現在、両側の準備を行っています。 ・交差点近辺の一部停留所が安全対応で撤去されています。ご不便をおかけしますが宜しくお願いします。 現在、スマホアプリでの予約受付は、休止しています。 以下の予約受付をお願いします。 ・受付電話:0721-62-5123 又は、 ・コノミヤ1階の拠点での直接申込 「クルクル」を一緒に運営していただける方を募集中! 必要なのはやる気だけ!お気軽にお問い合わせください。 お問い合わせ 河内長野市役所 総合政策部 政策企画課 ☎ 0721-53-1111 河内長野市社会福祉協議会 ☎ 0721-65-0133	2021年12月13日 クルクル代表者会議 担当 クルクル広報チーム  のんびり、楽しく、いっかん？ クルクル Nankai Mobility ●クルクル乗車での乗車券について 「クルクル」は12月16日(木)より乗車に際し、乗車券が必要になります。 ・クルクル(手動運転：緑色の車)の有償化について検討を重ねてまいりましたが、このたび12月16日(木)より乗車券を用いた有償化を行うことになりました。 ・乗車券に乗車券1枚 (100円相当)があります。 ・乗車券の購入方法 ①コノミヤのサービスカウンターで500円支払い、「クルクル乗車券引換」のレシートを受取ります。 ②レシートを「クルクル拠点(コノミヤ1階)」又は、「コノミヤナカラス(コノミヤ2階)」のいずれかで、乗車券を6枚に交換します。 ※11月29日(月)より販売開始 ●クルクル有償化運行キャンペーンについて ・クルクル(手動運転：緑色の車)は、12月16日から1月14日まで、月・火・木・金曜日の毎週4日間運行します。 ※ 前日：12月31日(木)～1月4日(日)は年明けのため、運行しません。 ※ なお、1月17日(月)以降は、従来通りの月・木の2回運行に戻ります。 現在、スマホアプリでの予約受付は、休止しています。 以下の予約受付をお願いします。 ・受付電話:0721-62-5123 又は、 ・コノミヤ1階の拠点での直接申込 お問い合わせ 河内長野市役所 総合政策部 政策企画課 ☎ 0721-53-1111 河内長野市社会福祉協議会 ☎ 0721-65-0133

②有償化に関する案内 及び ボランティア募集チラシ、ポスター制作

印刷部数:チラシ 4,000 部(A4)

ポスター20部(2種×10部)

制作方法:地域で活動するデザイナーによる制作にて、有償化の案内とボランティア募集に関するチラシとポスターを作成。

掲 示：南花台地域の各集会所、コノミヤ南花台店内4か所、受付拠点、幼稚園等

配 布:南花台地域内全戸配布(一部マンションは棟内掲示)(3,500 部)およびコノミヤ南花台店内、受付
拠点等における配架

[illegible]

②令和元年度製作物品による周知活動

【目 的】

令和元年度に制作したのぼり、横断幕、動画などを用いて情報発信を行い、グリーンスローモビリティに対する理解と協力を促し、地域の盛り上がりにつなげた。



③WEB サイト更新・運営

【目 的】

WEB サイトを通じたクルクルに関する情報を発信。

【実施内容】

地域のホームページ「咲っく南花台.com」に作成している専用ページにて、運行状況の発信等を行った。令和元年度に、当初の運行状況に合わせた情報を掲示したページを作成していたが、3年間の実証事業期間中に、

2. 令和3年度 実証事業の実施状況

運行方法や有償化等、事業内容に変更があったため、当該内容を最新情報に更新。また、運休や運行再開、各種周知等については、令和2年度同様、最新ニュースページにおいて情報発信を行った。

【更新サイト】

トップページ	デマンド運行詳細ページ	ボランティア募集ページ

(6) 新型コロナウイルス感染症対策

① 会議開催

昨年度から継続し、実際の運営におけるスタッフ・利用者の動作確認による運行上のリスク把握、スタッフの不安等について意見交換を定期的におこない、運営上のリスク、課題等の洗い出しを行った。緊急事態宣言の発出に伴い、運行休止の判断等を協議するための緊急会議等も開催した。



2. 令和3年度 実証事業の実施状況

②ガイドラインの運用

令和2年度において作成したガイドラインについて、令和3年度においても、適宜、実際の動きと照らして修正を加えつつ、これを運用している。

有社会モビリティ クルクル ガイドライン		ユースト 事業部
1 活動する際の全チーム共通事項 ユースト 感染予防対策の体制 ① 感染予防対策を行うことはもちろん、市・市民生活協会の会合を通じ、新型コロナウイルス感染症に対する正しい情報や情報を得る機会を確保するよう努めることとする。 ② 体調不良を訴えて行動する必要がある場合は、参加の態様を調整する。	2 予約受付チーム ① 予約受付作業時は、各自1メートル以上の距離を確保して作業できるように努める。 ② 予約スペースは、個人車に仕切りを設置する。 ③ 一定数以上が同時に予約受付作業に入らないよう調整するとともに、乗降換装を行う旨の呼びかけで乗降時間厳格をしない、取換をしない等を徹底する。 ④ 予約に未だ残りの方（以下「予約者」と）の間にも仕切りを設置し、仕切り越しに会話することにも、やむを得ない場合はできるだけお互いが仕切りをしないよう努める。 ⑤ 予約者に対し、乗車時にはマスクの着用が必須であり、お忘れの場合はいかなる場合でも乗車不可であることを伝える。 ⑥ 予約者に対し、体調の悪いとき（熱があるなど）は利用を控えていただくようお願いする。 ⑦ 予約者に対し、乗車時に検温を実施したうえで、こちらの体温計で37.5度以上の発熱が検出された場合は、いかなる場合でも乗車不可であることを伝える。 ⑧ 新型コロナウイルス感染症対策のため、乗降時に消毒を実施することから、経路等の可視化がある旨、お伝えする。 ※ アプリでの予約の画面は、上記を画面上に表示するようにします。	① 利用者に対しては検温を実施し、37.5度以上の発熱があれば、いかなる事情があっても乗車を断断する。 ② マスクを忘れ、着用を促すする等の利用者は、いかなる事情があっても乗車を断断する。 ③ 乗車時には手洗いの消毒をお願いする。 ④ ゴミは持ち帰るよう依頼を徹底する。 ⑤ 車内での利用者と隣り合う場合は、できるだけ両面に立ち、可能な範囲で換気を促す。 ⑥ 積み降ろしの上げ下ろしの補助をする場合は、利用者に荷物に触れることについて説明と協力をお願いする。 ⑦ 乗降場所には空きがある場合はシート2名（乗降時の場合は1名2人）とし、結果の利用者数を超えるような状況が発生しないよう配車を調整する。 ⑧ コロニアや、乗車前が検出される可能性がある場合は、人の消毒が可能なよう注意する。 ⑨ 車内で近距離の会話には遠慮いただくよう、ご案内する。
ユースト 乗客注意 ① 家での検温結果（および初めて活動に参加される方）については、基礎体温等を適切に検温等を経て、市および市民生活協会の協議により、参加の態様を判断する。 なお、自身の体調等に不安が生じた場合は、乗降やご乗換を行う。 ② 可能な限り乗降2時間の体調測定を行った上で、その結果や体調の異常を踏まえて参加可否を判断する。 ③ 特に、発熱し、だるさ、喉痛・喉炎等といった体調の変化が顕著に、重点的に確認する。 ④ 新型コロナウイルス感染症発症の疑いがある場合は乗降場所がある場合は、過去14日以内に発熱や人混み接触歴がある、または上記の乗降時間をお使いである国・地域などへの渡航歴に該当するなどの乗降場所がある場合はおいても、参加は見合わせ。 ⑤ 発熱やせき等の症状が及び参加を見合わせた場合は、参加の判断を行う際には、毎日、検温結果を確認した上で、症状がなくなり、次の1）および2）の両方の条件を満たすことを確認する。 ➢ 1）発熱後少なくとも6日経過後（発症日より0日として3日間）としている。 ➢ 2）喉痛（喉炎）を回復している状態で、喉痛および発熱消失後少なくとも6日経過後（喉痛・症状消失日より0日として3日間）を経過すること。 ⑥ 症状に不安が感じられない場合は、医師や保健士に相談すること。 ⑦ 毎日十分な睡眠を取り、休養に努める。 ⑧ 「新型コロナウイルスを特定した「新しい生活様式」を実施する一方で、中絶予防行動（エアコンの利用、窓で外の人と十分な距離を確保できる場合には適宜マスクを着用すること、こまめな水分補給等）にも積極的に取り組む。 ⑨ 定期的な手洗い、手指消毒を徹底する。 ⑩ 休憩時間や通風、食事時のマスク等の着用を徹底する。	3 運行チーム・自動運転運行チーム ユースト 運行状況の把握 ① 運転に不安がない場合は、運転者と補助者、及び各シートの間ビニールカーテン等を設置し、乗客と乗客間の気味を調整する。 ② エンクロージャーは強力開閉し、降車等で開める際には慎重に開閉し、換気に努める。 ③ 運転者・補助者は、運転席やハンドル等、気味が換気する可能性がある場所については、運転者が交代するタイミングで次検温検診ナトリウム消毒やエタノールなど、当該設備・器具に最適な消毒薬を用い消毒する。 ④ 乗客・手すり等・前扉等の消毒等、利用者の気味換気が換気する可能性がある場所については、利用者が降車した際に次検温検診ナトリウム消毒やエタノールなど、当該設備・器具に最適な消毒薬を用い消毒する。 ⑤ 次検温検診ナトリウム消毒で消毒する場合は、ビニール手袋を履き、キッチンペーパーに蓋をしてふき取りを行う。 ⑥ 車内換気、消毒を行っていることなどを車内周りに掲示し、利用者が安心して利用することができるよう配慮する。	

③マニュアル作成・更新

令和2年度に、ガイドラインをもとに、各チームで実際の動きと照らし合わせながらマニュアルに落とし込んだものについて、随時、実際の運行状況や新型コロナウイルスの感染状況を勘案しながら変更を行った。

令和3年度においては、ワクチン接種の拡大から、10月から週2回運行を再開し、2組（同一家族のみ同列シート可）であったものを4名（各シート2名ずつ）に緩和するなど、新型コロナウイルスの状況に応じた運用を実施、その都度マニュアルの更新をおこなった。

④利用者向けのルール徹底

令和2年度に利用者・スタッフ双方の安全安心確保のため、利用者側に遵守いただきたい利用ルール設定したが、これを徹底し、令和3年度においても継続して電話予約時にマスク着用等の案内を実施した。

利用者の乗車ルールを直接口頭で伝達するため、アプリ予約の停止を継続している。

(7) データ収集

●生活実態調査

【目 的】

地域住民の生活実態を調査し分析することにより、生活に機能する運行手法を構築することを目的に実施。

【实施内容】

- ・アンケート調査(2021年10月に地域配布)

実証事業の効果測定に関する生活実態調査・回収・データ整理・分析及び「クルクル」運行に係る利用者意識調査・分析のために「南花台モビリティ「クルクル」の社会実験と生活に関する調査」を行った。

アンケート(全 31 問)を作成し、南花台住民 1,000 世帯対象にランダムに配布した。設問は昨年度実施分と概ね同一(一部、昨年度の回答状況や時流等を考慮し変更)とし、経時変化も調査した。

2. 令和3年度 実証事業の実施状況

[illegible]

●利用者調査

【目 的】

「クルクル」利用者全員を対象にアンケート調査を実施し、利用ニーズを分析し、利用促進が図れる運行手法を構築することを目的に実施した。

【実施内容】

令和2年度は利用者ヒアリングシートを作成し、全利用者に対し2月中旬に電話にてヒアリング調査を実施したが、令和3年度においては、令和元年度と同様、利用者全員に対し、乗車毎にアンケートを実施した。

調査項目は、概ね毎年度同一とし、乗車データから読み取れる内容は省略して円滑な実施を図った。

有償運行前

「ワルグル」利用費アンケート (月 日)

1. 「ワルグル」を利用するの何回程度ですか？

☐ 1回以下 ☐ 2回目 ☐ 3回目 ☐ 4,5回目 ☐ 6回目以上

2. 今週、「ワルグル」を利用した理由や目的をおしえてください。
(当はほめるのもいいですよ)

☐ 交通機関(バス等)がないから ☐ 歩いた方が速いから ☐ 歩いた方が楽いから

☐ 着てみたから ☐ 自転車や車や徒歩が速いから ☐ 自転車や車や徒歩が速いから

☐ 便利と知ったから ☐ 自転車や車や徒歩が速いから ☐ 自転車や車や徒歩が速いから

☐ 買い物に行く・帰りのため ☐ バスに足るため ☐ バスに足るため

☐ 病院の行き・帰りのため ☐ その他 ()

3. 「ワルグル」が運行して良かった場合は、今週、何の目的で使ったように移動させていますか？ (当はほめるのもいいですよ)

☐ 自転車等 (自転車・バイク・スクーター等) ☐ バイク等 (バイク・スクーター等)

☐ 徒歩 ☐ 自転車 ☐ タクシー ☐ バス ☐ その他 ()

4. 以下のそれぞれについて、どのくらい満足していますか？

	とても満足	満足	やや満足	やや不満	不満
移動時間	☐ とても満足	☐ 満足	☐ やや満足	☐ やや不満	☐ 不満
持ち時間	☐ とても満足	☐ 満足	☐ やや満足	☐ やや不満	☐ 不満
乗り心地	☐ とても満足	☐ 満足	☐ やや満足	☐ やや不満	☐ 不満
停乗所が電光石火	☐ とても満足	☐ 満足	☐ やや満足	☐ やや不満	☐ 不満

5. 昨年度までのアンケート結果から、「ワルグル」を 100円/回で有償化することを検討しています。有償化した場合、利用しますか？

☐ 利用する ☐ 利用しない 理由 ()

・年齢 ☐ 20歳以下 ☐ 20,30代 ☐ 40,50代 ☐ 60,70代 ☐ 80歳以上

・性別 ☐ 男性 ☐ 女性 ☐ 回答しない

有償運行後

「ワルグル」利用費アンケート (月 日)

1. 「ワルグル」を利用するの何回程度ですか？

☐ 1回以下 ☐ 2回目 ☐ 3回目 ☐ 4,5回目 ☐ 6回目以上

2. 今週、「ワルグル」を利用した理由や目的をおしえてください。
(当はほめるのもいいですよ)

☐ 交通機関(バス等)がないから ☐ 歩いた方が速いから ☐ 歩いた方が楽いから

☐ 着てみたから ☐ 自転車や車や徒歩が速いから ☐ 自転車や車や徒歩が速いから

☐ 便利と知ったから ☐ 自転車や車や徒歩が速いから ☐ 自転車や車や徒歩が速いから

☐ 買い物に行く・帰りのため ☐ バスに足るため ☐ バスに足るため

☐ 病院の行き・帰りのため ☐ その他 ()

3. 「ワルグル」が運行して良かった場合は、今週、何の目的でどのような移動させていますか？ (当はほめるのもいいですよ)

☐ 自転車等 (自転車・バイク・スクーター等) ☐ バイク等 (バイク・スクーター等)

☐ 徒歩 ☐ 自転車 ☐ タクシー ☐ バス ☐ その他 ()

4. 以下のそれぞれについて、どのくらい満足していますか？

	とても満足	満足	やや満足	やや不満	不満
移動時間	☐ とても満足	☐ 満足	☐ やや満足	☐ やや不満	☐ 不満
持ち時間	☐ とても満足	☐ 満足	☐ やや満足	☐ やや不満	☐ 不満
乗り心地	☐ とても満足	☐ 満足	☐ やや満足	☐ やや不満	☐ 不満
停乗所が電光石火	☐ とても満足	☐ 満足	☐ やや満足	☐ やや不満	☐ 不満

5. 12月16日より有償化しましたが、利用頻度はいかに変わりましたか？

	とても満足	満足	やや満足	やや不満	不満
利用頻度	☐ とても満足	☐ 満足	☐ やや満足	☐ やや不満	☐ 不満

理由()

・年齢 ☐ 20歳以下 ☐ 20,30代 ☐ 40,50代 ☐ 60,70代 ☐ 80歳以上

・性別 ☐ 男性 ☐ 女性 ☐ 回答しない

(8) 実証事業の横展開

現在南花台地区において実施している実証事業を横展開し、交通不便地である下里地区において地域を拡大した実証事業をおこなった。

事業実施体制等は南花台地域を踏襲し、地域住民主体の運営を実施。運行ルート・運行ダイヤは地域住民との協議により決定。

【経緯】

下里地区は、交通空白地として公共交通の課題があり、これまでバス事業者やタクシー事業者等と協議や実証事業を重ねてきたが、費用面で交通空白の解消に至っていない状況があったところ、本実証事業を受けて、地域住民より、地域住民主体の運行により交通空白の課題を解消できないかとの提案があり、実証事業の実施に至る。

【運行概要】

運行期間: 令和3年11月30日(火)～令和4年1月27日(木)

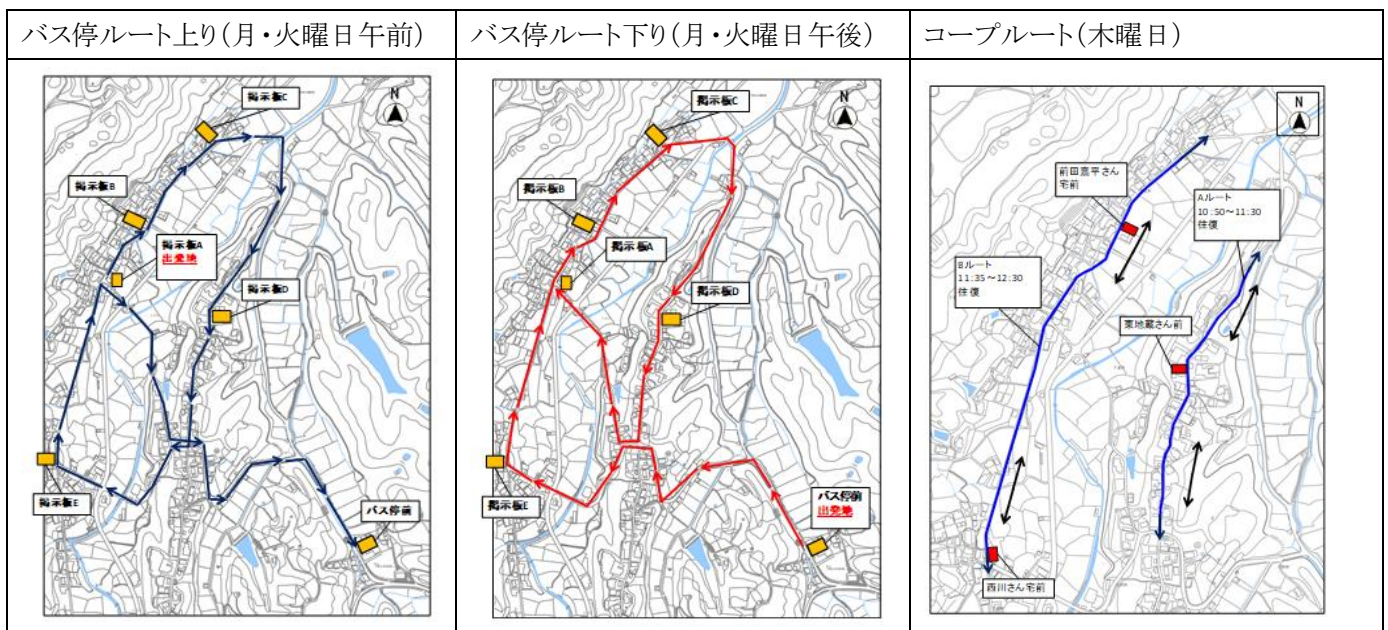
隔週月・火曜日 9時45分～11時00分、15時00分～16時15分

毎週木曜日 10時50分～12時30分

運行ルート: バス停ルート(月・火曜日)、コープルート(木曜日)の2パターンを設定。

バス停ルートは午前は集会発バス着の上り、午後はバス停発集会所着の下りで運行。

コープルートは移動販売車の駐車場所を基準に時間内で連続運行。



運行体制: 下里地区の町会内に下里「クルクル」運営委員会を設置。

講習受講済みの運転可能人員は20名。運行は運転手1人、添乗者1人の2名体制で実施。

2. 令和3年度 実証事業の実施状況

【運行実績】

バス停ルート					
11月合計	5人	12月合計	6人	1月合計	8人
平均乗車人数	5人/日	平均乗車人数	1.5人/日	平均乗車人数	2.67人/日
11月30日	5	12月6日	2	1月11日	2
		12月14日	2	1月17日	1
		12月20日	2	1月25日	5
		12月28日	0		

コープルート			
12月合計	23人	1月合計	7人
平均乗車人数	5.75人/日	平均乗車人数	1.75人/日
12月2日	9	1月6日	1
12月9日	3	1月13日	2
12月16日	5	1月20日	0
12月23日	6	1月27日	4